

第 68 回全国高 P 連大会佐賀大会参加報告

(静岡県高 P 連事務局)

会場 佐賀県総合体育館大競技場

8 月 20 日 (月) 9:00~

1 開会式 主会場 (佐賀県総合体育館大競技場)

挨拶・式辞・祝辞

①開会のあいさつ

第 68 回佐賀大会実行委員長 西岡 豊 氏



西岡 豊 実行委員長のあいさつ



「お帰りなさい」のことばが冒頭にあり、西岡実行委員長あいさつがありました。

第 68 回佐賀大会は分散型の大会で鳥栖・嬉野・唐津そして佐賀の 4 会場となったが佐賀県 P T A が各会場とも充分なおもてなしで迎えたいとのあいさつがありました。

(鳥栖・嬉野・唐津の各会場に映像が配信された。)



②式辞 (一社) 全国高等学校 P T A 連合会会長 牧田和樹 氏

開催県である佐賀県の P T A に感謝し、参加された各単位 P T A の会員のみなさまに実りのある大会であってほしいとのあいさつがありました。



牧田和樹 全国高 P 連会長の式辞

③祝辞 文部科学大臣 林 芳正 氏、復興大臣 吉野 正芳 氏、佐賀県知事 山口 祥義 氏

佐賀市長 日出嶋 敏行 氏

文科大臣からは、佐賀大会開催の感謝と青少年を取り巻く今後の課題、復興大臣からは、佐賀大会の盛会と豪雨災害の支援等協力に感謝しているとのことばがありました。また、佐賀県知事、佐賀市長からは、佐賀大会の成功の願いと県・市の観光や特産物など紹介がありました。



林 芳正文科大臣



吉野正芳復興大臣



山口祥義佐賀県知事



御厨安守佐賀市副市長

【 表彰式 】

(一社) 全国高等学校 P T A 連合会会長表彰、文部科学大臣表彰の被表彰者がこの大会で受賞されました。表彰式は主会場で行われ各部の代表者に全国高 P 連会長、文部科学大臣から授与されました。

写真は、8 月 19 日に行われました「静岡県情報交換会」での受賞者・団体の紹介写真です。



①会長表彰個人・団体 本県からは、個人の部 小杉裕昭 氏、団体の部 市立沼津高校・中部 P T A、県立静岡高校 P T A が受賞されました。(名前のみ映像紹介)

全国高等学校 P T A 連合会会長表彰 個人の部

全国高等学校 P T A 連合会会長表彰 団体の部

岐 阜	渡邊 直哉	磐谷中学・高等学校
静 岡	小杉 裕昭	静岡県立科学技術高等学校
三 重	柳田 幸紀	三重県立尾鷲高等学校

岐阜県立岐阜盲学校 P T A	永野 扶美恵
沼津市立沼津高等学校・中部 P T A	川瀬 典子
静岡県立静岡高等学校 P T A	杉山 基

②文科大臣表彰 P T A活動振興功労者表彰

5年に一度の表彰であるP T A活動振興功労者として、
 本会から小山全司会長、青山 健副会長、山崎好和副会長、
 望月美奈子副会長、高塚勝久元副会長、木村光正元副会長の
 6人が受賞されました。

小山 全司	静岡県公立高等学校P T A連合会	会長
青山 健	静岡県公立高等学校P T A連合会	副会長
山崎 好和	静岡県公立高等学校P T A連合会	副会長
望月 美奈子	静岡県公立高等学校P T A連合会	副会長
高塚 勝久	静岡県公立高等学校P T A連合会	元副会長
木村 光正	静岡県公立高等学校P T A連合会	元副会長

③第67回静岡大会開催に対する特別感謝状



(第67回静岡大会開催の功績を讃えて)

静岡県高P連(代表:小山全司会長)、静岡
 大会実行委員長(杉浦政紀名誉会長)に一社全
 国高等学校P T A連合会会長より特別感謝状
 が授与されました。

2 基調講演

演題:レモンさんのビタミントーク!〜慈しみの合言葉!We are シンセ!〜

講師:レモンさん(山本シュウさん)

8月20日(月)講演 レモンさん(山本シュウ氏)
 板書内容

①3つのお願い
 1 We are しんせき(能動的に)
 2 メモ(回転寿司・ひらめき)
 3 感性の扉(気づき)

②内容
 1 意味 2 人育て 3 コミュニケーション
 4 P T A(チーム作り)

③レモンさんの、タイトルの意味
 広めよう 高めよう 慈しめよう〜君たちが作る希望の明日を〜
 1 慈しめよう → 身内(家族)に愛を感じる We are シンセ!
 2 君たちが作る → ボトムアップ(自走)

④
 命 → 生きる → 幸せ
 心(愛・増進) 脳(リテラ) 体(健康)
 (ホッペン)

⑤ 学校 = 幸せであるために
 「生きる力」を身に付けるところ
 挨拶 = 人が大切 → 愛着 お陰様さん
 思春期 = 8, 9歳(6歳) → 18, 19歳
 1 体 二次性徴(ホルモンバランスが崩れる)
 ①イライラする ②不安感にかられる
 2 心? 自我の目覚め → ×反動期 → 自分の意見言いたい期

⑥人育てはソムリエ
 1 MENU
 2 アドバイス(情報)
 3 タイピング(リアリティ)
 4 決定
 5 お勘定(責任とふり返り)

⑦「くじけない」成長サイクル
 内容=フィードバック
 (評価・分析・検証)
 結果? 失敗は学び=失敗は成長の素 工夫(仮説)
 実行(チャレンジ)?

⑧コミュニケーションの3ステップ
 聴く 1 聴く 2 確認 3 同調
 話す 1 話す 2 確認 3 気づかせる

⑨昭和の楽しいチップ(1C)
 1 すぐに感情的になる 6 おぐぐぐ出す
 2 人の話を聴かない 7 すぐ悪者を作る
 3 絶対に自分が正しい 8 すぐに戦闘モード
 4 極端 9 絶対評価→絶対評価
 5 上から目線 10 男尊女卑→自分らし

⑩ワークショップ(練習)
 1 We are シンセ!マジック
 2 Oh!ドラマティック!何か事情があります?
 3 ピンチはチャンス!何のチャンスやねん!
 4 ～ボヨボヨン(ニヤニヤ)でちゅ
 5 ～と思うけど、どう思う?

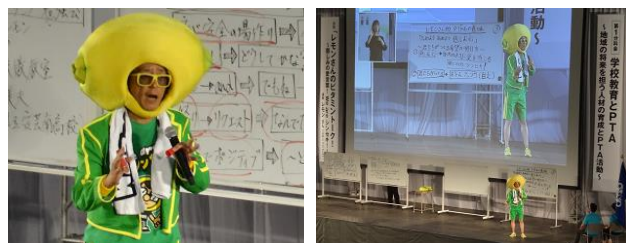
⑪P T A5つの得
 1 情報 2 会話(コミュニケーション) 3 友人(地味)の
 なり 4 感動 5 愛

⑫P T A改革の5個直す
 1 ゴ → 合理化 → (ムダを省く)
 2 コ → 効率化(最少材料で最大のファマス)
 3 ナ → 長風化(力を合わせる/一人の長所を競う)
 4 オ → おおらか(怒らない/冷静に/優しく)
 5 え → スマイル(楽しくする)

⑬チーム作りの5つの星
 ☆1 安心安全の場作り→イイネ! 上がった
 ☆2 否定なし → ぶつてきたらどう? どう? どう?
 ☆3 but → and → でもね、それなら
 ☆4 戻り → フォロー → 戻ってきたらどう? どう? どう?
 ☆5 途中でアタリ → 途中でアタリ → どう? どう? どう?

⑭信頼の5つの星
 1 理解者 → 「わかってくれる」
 2 応援者 → 「応援してくれる」
 3 信者 → 「信じてくれる」
 4 承認者 → 「認めてくれる」
 5 指導者 → 「気づかせてくれる」(引き出してくれる)

冒頭からレモンの被り物と独特の話し方に圧倒
 されましたが、話の内容は熱く前半は「生きること」
 の素晴らしさや「人育て」する時に必要なことにつ
 いて語られ、後半にはこれからのP T A活動に大切
 なことをお話しいただきました。以下講演でホワイト
 ボードに板書された内容をまとめました。



講師 レモンさん(熱き思いを私たちに!)

3 第1分科会

第1分科会は、佐賀県総合体育館大競技場を会場に開催されました。テーマを「学校教育とP T A」～
 地域の将来を担う人材の育成とP T A活動～とし、4校のP T Aによる事例発表がありました。

- ①秋田県立角館高等学校P T A テーマ: 少子高齢化社会とPTCA～学校・P T A・地域は協働しながら～
- ②愛知県鶴城丘高等学校P T A テーマ: 地域で愛着を持たせるP T A活動～花植えと清掃ボランティア活動をととして地域に目を向ける～
- ③奈良県立奈良高等学校P T A テーマ: ”The Prime of Them”～彼らの輝けるひびに
- ④沖縄県立久米島高等学校P T A テーマ: 「地域と共に育てる人づくり」～久米島高校魅力化事業と連携して～

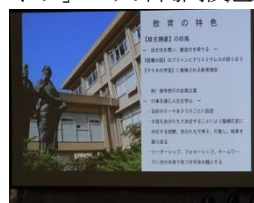


第1分科会の4人の発表者

各発表者から学校活動に
 対する思いが伝わってくる
 発表でした。



←秋田県立角館
 高等学校P T A



←愛知県立鶴城丘
 高等学校P T A



←奈良県立奈良
 高等学校P T A



←沖縄県立久米島
 高等学校P T A

4 特別第1分科会（佐賀県総合運動場小競技場）

特別第1分科会は、佐賀県総合体育館小競技場を会場に、ICT利活用教育の可能性と題して、開催県である佐賀県の2校の実践事例発表と5人のパネリストによるパネルディスカッションが行われました。



パネルディスカッション



高校生2人を含むパネラーのみなさま

8月21日（火）9:00～

1 記念講演（会場 佐賀市文化会館大ホール）

演題：「私の出会った感心な人たち」

講師：佐賀新聞社専務取締役 富吉賢太郎

（講演要旨）

戦争が終わって73年が過ぎた。18年後の日本は東京オリンピックをおこなった。



記念講演ステージ



講師：富吉賢太郎氏



佐賀県役員による謝辞

戦後の混乱期から、高度成長期に入り、目を見張るものがあるが、小学校・中学校と平等に受けられる教育とコツコツ真面目で一生懸命な国民であることによるもの……………以下省略

※佐賀大会では、記念講演を各会場毎で講師をお招きし、それぞれのテーマで講演が行われました。

2 分科会報告

各会場担当の全国理事より、全国高P連研究発表（テーマ：AIと共に歩む未来）、第1分科会（学校教育とPTA）、第2分科会（テーマ：進路指導とPTA）、第3分科会（テーマ：生徒指導とPTA）、第4分科会（テーマ：家庭教育とPTA）、特別第1分科会（テーマ：ICT利活用教育）、特別第2分科会（テーマ：主権者教育）の分科会報告がありました。

理事からは、各学校PTAの発表内容への称賛と会場設営に当たった佐賀県PTAのみなさまへのお礼のことばがありました。



報告をされました全国理事のみなさま

3 閉会式（佐賀県総合体育館大競技場）

分科会報告が終了し、閉会式が行われました。開会、あいさつ、大会宣言採択、全国高P連旗返還・授与、閉会

①大会会長あいさつ



牧田会長から、第68回佐賀大会は、実りの多い大会でした。この大会を準備から本番まで尽力され佐賀県のPTAのみなさまに感謝します。来年は、京都で会いましょう。とあいさつがありました。

②大会宣言採択



佐賀県大会山本副実行委員長より、要項にあります大会宣言（案）より、4つの宣言がなされ、全会一致で宣言が採択されました。

③全国高P連旗返還・授与

【返還】



昨年、静岡大会で佐賀に授与された全国高P連旗が、西岡実行委員長から牧田会長に、返還されました。

【授与】



引き続き、第69回全国高P連大会開催地主幹京都府立高P連及び京都市立高P連協（共同開催）の会長に全国高P連旗が授与されました。

④次期開催地あいさつ



授与された京都府立高P連と京都市立高P連協を代表し京都市立高P連協濱本会長のあいさつがあった。



第69回京都大会の
ポスターとシンボルマーク

(あいさつ要旨)

第69回京都大会は2019年8月22日(木)23日(金)に、府立と市立の共同開催で、大会では、「おいでやす京都へ」を合言葉に大会を盛り上げたい。との挨拶があった。

⑤佐賀大会実行委員長あいさつ



西岡実行委員長



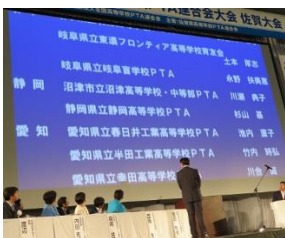
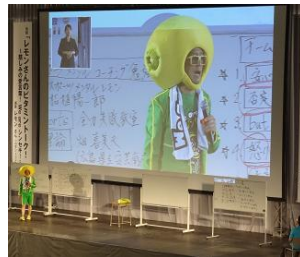
他会場への配信映像

(あいさつ)

本県では3年前から、準備を進めてきたが、佐賀県には大きな会場がない。不利を不利としない大会にしたいと「分散型大会」を実施した。また、公立と私立が一緒になったPTA連合会です。協力し合い、各会場みなさまを「おもてなし」しました。

本日大会が無事終了できることを参加者、本県PTAスタッフに感謝します。とあいさつがありました。

佐賀大会報告写真集 (事務局撮影)



8月20日(月)
第2分科会
1 唐津会場



(会場入り口)



(受付風景)

2 開会式



唐津市長 峰 達郎 氏

3 第2分科会

テーマ 進路指導とPTA～学校と保護者が協働するキャリア教育～



発表風景



発表者



指導助言

8月21日(火)

1 開始前アトラクション



篠笛奏者・作曲家 佐藤 和哉 氏

2 記念講演

演題「高橋是清と耐恒寮の少年たち―明治初期唐津における英語教育―」



【講演内容】

日銀総裁、大蔵大臣、内閣総理大臣を務めた高橋是清は若きに海外留学後、森有礼に推薦され、文部省へ入省する前（明治4年～明治6年）、唐津藩が新設した「耐恒寮」において、英語を教え、いかに多くの有為な人材を育てたか。

講師：唐津商工会議所 会頭 宮島 清一 氏

8月20日(月)
第4分科会
1 開会前



会場入口付近



高校生の販売ブース



受付の様子

2 第4分科会

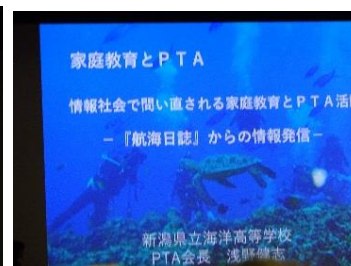
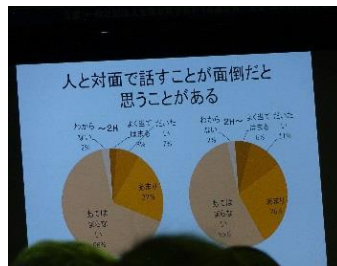
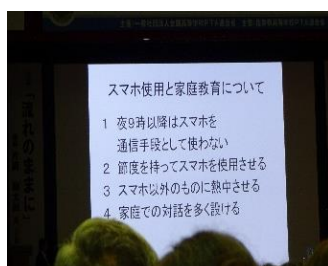
テーマ 家庭教育とPTA

＜発表校＞岩手県立大船渡高校・・・9時以降スマホ使用禁止など家庭でのルールづくりをしている。
埼玉県児玉白楊高校・・・子供と同じ目線になり、声をかけ、学校との協働をする。
新潟県立海洋高校・・・情報機器を上手に使い、家庭からも発信していく。
山口県立萩高等学校・・・人のぬくもりを体験できる場をつくる。



←第4分科会開会のあいさつ

4校の分科会発表者→



8月21日（火）
1 アトラクション



嬉野高校
和太鼓部「嬉昇伝心太鼓」

嬉野高校 ソングリーディング部

2 記念講演

俳優 片岡鶴太郎 氏 「流れのままに」

将来の行き詰まり、不安を感じていたある寒い朝、ふと気配を感じ振り向いたときに真っ赤な椿の花が咲いていた。誰にみてもらうものでもなく、ただそこに咲いているのをみたときに「この椿を描きたい」と強く思い、以来毎年椿を描いている。空海が好きで、瞑想に興味を持ち、ヨガを日本に最初に取り入れたのが空海であったことに驚き、今ではヨガは日課となっている。

鶴太郎さんのお話を聴いて、興味をもったことに対してとことん学習し、体験し、中途半端にするのではなくやりぬいていくことで人生をより豊かにし楽しめるんだなと思いました。

最後はおきまりのもの真似をしてくださり、会場が大いに盛り上がった講演でした。

3 閉会式



← 8月20日（月）
昼食のお弁当
（美味しい）



← 8月20日（月）
昼のアトラクション

佐賀県の皆様、お疲れさまでした。

8月20日(月)

1 全国高等学校PTA連合会研究発表

テーマ 「AI とともに歩む未来」

司会 全国高等学校PTA連合会 渡辺正和理事

第1部 調査結果報告 報告者 リクルート進学総研所長・カレッジマネジメント

編集長 小林 浩氏



【講演内容】

AIの発達などの技術革新の普及への影響は？高校生5割強あり、保護者4割弱。また、これからの社会は好ましい？高校生年々増加し5割強、保護者は不安視が大勢。明らかに親子のコミュニケーション不足。

第2部 基調講演 講師 (株)エクサウィザーズ代表取締役社長 石山 洸氏



【講演内容】

AIをどのように活用するか目的意識が重要。(例)直近2週間のスマホのデータから、次の1週間の体調・気分を80%の確率で予測可能。

第3部 パネルディスカッション

コーディネーター 全国高等学校PTA連合会会長 牧田 和樹氏

全国高等学校PTA連合会副会長 森崎 綾子氏

パネリスト 小林 浩氏、石山 洸氏



- ・AIは遠い世界のものではない。スマホやデジカメにも入っている。
- ・AIの発達により、多くの職種がなくなると言われるが、恐れる必要なし。新しい職種も生まれる、AIにできないこともある。ただし、今までの考え方に固執すると危険。
- ・AIをつくる人は1割、使う人が9割。AIとともに生きることを考える。

2 特別第2分科会(佐賀市民文化会館中ホール)

テーマ 「主権者教育」～未来をつくるわたしたちの使命～

司会 全国高等学校PTA連合会 渡辺正和理事

①演劇上映

演題：「カセガワ高校生生徒会長選挙」

出演 佐賀県立佐賀東高等学校 演劇部

高等学校の生徒会長選挙を内容とする演劇で、立候補者は選挙公約を掲げ、立会演説会で公約の説明をし、生徒たちは各候補者の主張を理解しようとする。



2 パネルディスカッション

パネリスト

佐賀県立佐賀東高等学校後援会副会長 森田 徹氏

佐賀県立佐賀商業高等学校教諭 土橋 輝也氏

佐賀県立佐賀東高等学校演劇部部長 松田紗葵さん

同 副部長 松下栞里さん



- ・選挙を通して社会とのつながりを感じてほしい。
- ・SNSを通して発信される情報をどのように認識するか、内容の理解が重要である。
- ・主権者教育とは、18歳をおとなにする教育である。
- ・選挙に行くこと、それは権利と義務を行使することである。

8月21日（火）

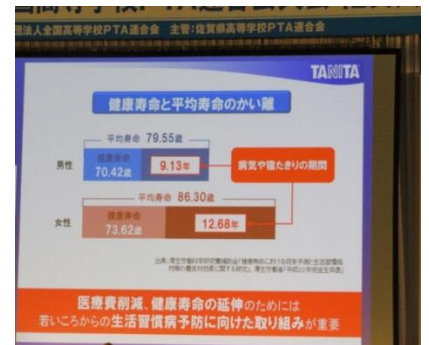
記念講演（佐賀県総合体育館大競技場）

講師（株）タニタ代表取締役社長 谷田 千里氏

テーマ 「日本を健康にするタニタの挑戦」

【講演要旨】

タニタ食堂はもともと社員食堂。食堂のレシピで話題になったが、タニタは本来「健康をはかる」計測機器メーカーでヘルスメーターのパイオニアである。タニタの目標である「日本を健康にする」ため、運動、食事、睡眠を含む24時間サポートし、増え続ける医療費を少しでも抑えたいと考えている。



パワーポイントを使った講演で「タニタ」の企業戦略が良く見えた